

街に咲き乱れた 舞 桜 番

パーランクーが鳴り響いた、国際通り 「一万人のエイサー踊り隊」



夏の風物詩、エイサー。今では、こども会や自治会など、少年の活動の場にも取り入れられたエイサー。チビッコたちの大太鼓やパーランクーのバチさばきも、あざやかなものです。猛暑の8月、国際通りはエイサーの演舞で埋め尽くされます。この伝統的なエイサーや創作エイサーに混じり「一万人のエイサー踊り隊」の一員として、こども達も練習の成果を披露しました。

各地域のお祭りでも、こども達のバチさばきは好評で、夏のお祭りにはこどもエイサーは欠かせないものになっています。

「繁多川道すねいエイサー」も地域に根付いたお祭りの一つで、演舞の主役はやはり、こども達でした。

今回は、エイサーの華が咲き乱れた「一万人のエイサー踊り隊」と「繁多川道すねいエイサー」、毎年、マチグワいとやちむん通りを中心に繰り広げられ、13回目を迎えた「ピースラブ・マチグワい&壺屋まつり」を紹介いたします。



ほえる吠える、獅子のごとく



ひびくかけ声、演舞するのは琉球國祭り太鼓Jr.



特等席だよ。エイサーを一望でき、満足している様子。観光客？



パーランクーたち。



素朴な黒と白の装束で素足。パーランクーの打ち方と返し方、足のはこびが独特な平敷屋青年(西)エイサー

ばくだってね、うまくできるよ、ほら。エイサーのかけ声にあわせパーランクーを打つ、観客席の子ども。

まついの主役はこども達



繁多川中央通りを練り歩きながら演舞する参加団体のみなさん

保育園児のかわいい旗頭の舞に市長もにっこり



思わず手を動かしておどりだす子どもたち

